

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	(提言事項) さまざまな地域交流を予定しているようですので、そのような機会を利用して災害発生時等に地域住民からの協力を得られるような協力体制を築いてみてはいかがでしょうか。	非常災害時の協力体制の確立。	①ホームを知ってもらうために地域行事へ参加するほか、ホームの行事に参加していただく等、交流を図る。 ②運営推進委員やボランティアにホームの避難訓練に参加していただき、非常災害時の協力を依頼する。 ③地域交流スペースを利用される方に協力を依頼する。	12か月
2	49	戸外の活動を増やしたいと考えたが思うように実施できていなかった。ウッドデッキや近くの公園等を利用し、活動を増やしていきたい。	利用者一人ひとりの希望に沿って、戸外での活動を楽しむことができるようにする。	①日常的な外出が利用者の生活に与える影響をスタッフ間で共通認識する。 ②普段の会話の中から利用者の希望や習慣、身体状況を把握し、その人に沿った支援を毎月のスタッフ会議で話し合い、次月の予定を立てる。 ③利用者のその日の状態に合わせ、菜園や散歩、ドライブ等の活動を支援する。 ④利用者の希望を家族と共有し、協力していただけるようにする。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。